

心肺蘇生法の手順(乳児 & 小児)



乳児と小児 ・乳児は「1歳未満」
・小児は「1歳以上16歳未満(目安は中学生まで)」

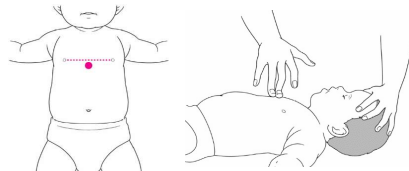
胸骨圧迫と人工呼吸

- 成人と同様、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを絶え間なく続ける
《成人との違い》

- ① 胸の厚みの約1/3沈む深さまで強く圧迫
- ②成人と同様、人工呼吸ができる場合は、気道を確認し人工呼吸を2回おこなう
※子どもの心停止は、呼吸障害を原因とすることが多く、人工呼吸の必要性が高い

乳児(1歳未満)の場合

胸骨圧迫



両乳頭部を結ぶ線の少し足側を
目安とする

胸の真ん中を2本指で押す

人工呼吸



乳児の口と鼻を同時に自分の口で覆い、
息を2回(1回1秒かけて)吹き込む

小児(1歳以上16歳未満)の場合

- 胸骨圧迫は胸の真ん中を片手で、胸の厚みの約1/3沈む深さまで強く圧迫
(体格が大きければ成人と同様に両手でおこなってもよい)
- 人工呼吸は成人と同様の方法でおこなう

AEDの使用方法

- 未就学児(6歳未満)には未就学児用パッドを貼る
(未就学児用パッドがなければ小学生~大人用パッドを使用)
- AEDに未就学児用モードがある場合、未就学児モードに切り替える
- 小児は体が小さいのでパッドを胸と背中に貼る

	未就学児用パッド・モード	小学生~大人用パッド
未就学児の傷病者	◎ (推奨)	○ (可)
小学生以上の傷病者	× (不可)	◎ (推奨)

